

矢賀 学区だより

令和三年度

矢賀学区長寿会連合会

役員紹介

矢賀学区長寿会連合会では去る六月二
四日(木)に南組会館にて総会が開催され、
新役員が決定しました。

各単体会会長

第1長寿会 小谷庄吾

第2長寿会 山田正一

(学校協力者会議)

第3長寿会 三芳康尔

第4長寿会 松岡 巖

(社会福祉協議会兼会計)

四季の会 谷本合一

(東区老人クラブ連合会)

第六長寿会 榎本三千夫

第七長寿会 米田寿雄

女性部長 藪野幸枝

各単体会女性部長

第1長寿会 飯田照子

第2長寿会 藪野幸枝

第3長寿会 大田富美子・谷口寿子

小濱節子

第4長寿会 山口己作子

四季の会 吉田多美子

第六長寿会 竹内裕子・仲子信子

宮尾和子

第七長寿会 山田真由美・光永茂子

矢賀学区長寿会連合会では、令和三年
度新規会員を募集しています。各単体会
会長に申込みください。

矢賀学区長寿会連合会

事務局

「矢賀に住んで良かったと
思えるまちづくり」

アンケート調査にご協力をお願い

矢賀学区町内会の皆さまには、いつもご
理解とご協力を賜りましてありがとうございます。

学区内ではコロナ以前は、様々な催しが
一年を通して開催されており、公園や広
場ではグラウンドゴルフやペタンク、テニス
などで汗を流し、健康寿命を伸ばす交流
の場が豊富な学区でした。

しかし、昨年からそれまでの生活環境
をコロナが一変させました。お元気な年輩
者も多くおられますが、徐々に足元がふ

らつき始めた方も増えつつあり、一刻も早
く終息し、大きな声でしゃべって笑いあえ
る集いの場所の復活を願うばかりです。

自然環境においては、海水温の上昇で集
中豪雨による土砂崩れや洪水の危険性は
矢賀学区においても年々増えています。

一方、超高齢化は各町内会とも急速に
進んでおり、ご近所同士の助け合いは、安
心して暮らせるまちづくりに欠かせなく
なっています。しかし、地域によってはご近
所同士で助け合うことが難しくなっている
ところも少なくありません。このたび、各
町内会の皆さまに、「住んで良かったと思
えるまちづくり」の計画実現の為に、災害
避難のお考え、日常生活の状況、健康状態
に関することなどをアンケートで教えてい
ただき、町内会の課題と方向性を探求し
効果的な対策を立てる計画の準備をして
おります。

見守つて支えあつて安心して暮らせるま
ちづくりを実現する為に、アンケート調
査のご協力を宜しく願ひ致します。

なお、アンケートは(秘)とし、この為の
目的以外には使用いたしません。

矢賀学区第2次福祉のまちづくりプラン

実行委員会

高齢者福祉部会、防災・防犯部会

防災セミナーにオンライン参加

七月二十四日(土)に広島市防災セミナーが、オンラインで開催されました。天気予報の仕組みや避難情報についての講演で、矢賀小学校の児童を招いて、中央集会所でいっしょに視聴しました。



防災セミナーの様子

矢賀学区自主防災連合会

小学校だより

子どもたちと学校行事

「コロナ禍にできることを」

新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な学校行事が中止、または、規模を縮小して実施せざるを得なくな

つて、一年余りが過ぎます。

子どもたちの安全・安心が最優先であるため、今年度の入学式は、新一年生、保護者、教職員のみで実施し、「一年生を迎える会」も、リモートでの実施となりました。

そして、五月には緊急事態宣言、六月には広島県の集中対策期間に入ったため、予定されていた修学旅行や校外学習は延期となりました。

調理実習や理科の実験など、実施できない活動も増えました。暑い季節、子どもたちが待ち望んでいた水泳指導も中止となりました。

県の集中対策が終了し、今、少しずつ「学校行事」を行うことができますようになっています。いくつかの行事を通じて、子どもたちの姿をお伝えしたいと思います。

☆「久しぶりの参観・懇談会」

六月末から七月初めにかけて、参観・懇談会を行いました。

約一年ぶりの参観・懇談会当日の朝、子どもたちの様子を見て驚きました。笑顔で、とてもはつらつとして見えました。おうちの方が参観に来られるということは、多少の緊張が

あるかもしれません。けれども、それ以上に「おうちの人の観てもらえる」という喜びが大きいようでした。

☆「他学年との交流」

六月後半、二年生と三年生が、一緒に「矢賀の町たんけん」に出掛けました。少し先輩である三年生が、二年生に「矢賀の町」のことを教える活動でした。

「今日は、町たんけんだ！早く教室に上がって準備しないと。」

と、朝からはりきっている二年生の姿を見ると、関わり合うことの大切さを改めて感じました。

また、先日、パソコンルームに行く時、一年生がパソコンを操作する横で、六年生が優しくサポートしていました。



1年生と6年生のパソコンルームでの交流

六年生は、優しく声掛けしながら操作を手伝い、一年生を大切に想う気持ち、が伝わってきました。良い関わりをもつと、互いの心が満たされるのだなあと感じる一場面でした。

☆「平和の話を聴く会」

七月十九日に、絵本「いわたくんちのおばあちゃん」に登場する岩田くのお母さん、岩田美穂さんにお越しいただき、六年生の子どもたち、戦争と平和について話していただきました。



岩田さんの話を聞く6年生

戦時中に撮影した一枚の家族写真を通して、六年生の子どもたちが理解しやすいように説明を加えながら原爆が投下された前後の話をしてくださいました。子どもたちは、自分の知っている知識と結びつけながら、

真剣に聞いていました。

今回、お話いただいた岩田さんのように、心に響く内容を語ってください方との触れ合いも、子供たちの心を育むものだと感じています。

子どもたちに必要な行事を、安全・安心に実施するために、「いつ、どのように行うのが良いのか」。これからも、学校の教職員や保護者の方々、地域の皆様と共に考え、知恵を出し合いながら進んでいきたいと思えます。

九月一日、二日は延期にしていた修学旅行が予定されています。

六年生の子どもたちが、予定通り修学旅行に行くことができますように。

広島市立矢賀小学校

校長 村中 真由美

幼稚園だより

「一学期を終えて」

七月十九日に一学期終業式を行いました。終業式では、一学期の振り

返りとともに、夏休みの過ごし方について話しました。子どもたちは真剣に話を聞き、これから始まる夏休みを健康に、安全に気を付けて過ごそうという気持ちになったようでした。

年度当初の姿と比べると、すっかりたくましくなってきた子どもたち。環境への興味や関心、話をよく聞いて行動すること、友達との関わり方、遊びの工夫など、園生活の様々な場面で成長した姿が見られるようになっていきます。手洗い、うがいの励行など、健康を守る生活習慣も定着してきました。

夏休み期間は、昨年と同様にステイホーム時間が多くなると思われます。規則正しく元気に過ごし、お手伝いなどに進んで取り組めるよう「よいこのなつやすみ」を配り、保護者の協力のもと、生活リズムを大事に過ごすことができるような工夫をしています。長い夏休み期間を、家庭や地域で、引き続き健康管理に気を付けながら過ごしてほしいと思えます。

一学期の間、新型コロナウイルス感染拡大防止の緊急事態宣言などがあり、参観日等一部の行事を見合わせたり変更

したりしました。そんな中でも、五

歳児は、六月三十日に広島市子ども文化科学館へ、プラネタリウム観覧に行くことができました。大きなドーム型のスクリーンに映し出された満点の星を見て感動した子どもたちは、夏の夜空や七夕伝説への関心を深めたようです。また、七月十二日には子どもたちが楽しみに準備してきた「やがやうちえん夏祭り」を、保護者の方の協力を得て行うことができました。四歳児は「アイスクリー

ムとかき氷屋さん」五歳児は「わくわくどうぶつランド」を作り、お店の人やお客さんになって楽しみました。保護者の方には、お店のサポートとともに感染症対策への協力もいただきました。

天候にも恵まれ、最後は園庭で音頭を踊ることができました。「わくわくランド」に参加の未就園児親子の皆さんも一緒に楽しい夏祭りとなりました。

夏の交通安全運動期間中の七月十六日には、広島市交通安全運動推進隊の皆さんから、登園時に交通安全グッズをいただき「交通安全に気を付けてね」と優しく声をかけていただきました。子どもたちは、嬉しそうにお礼を言っていました。

地域の皆様、保護者の皆様には引き続き子どもたちの育ちを見守っていただきますようよろしくお願い申し上げます。



矢賀幼稚園HP

八月の予定

10日、11日(学校閉庁日)

12日、13日、16日

(夏季一斉閉庁日)

(九月一日一学期始業式)

広島市立矢賀幼稚園

園長 木村みゆき

児童館だより

最近の天気の変遷には、驚いてしまいます。嵐のように激しい風が吹き、雷がゴロゴロと鳴り響き、雨が降りつけ、怖さを感じるくらいの日もありました。警報が発表され、子どもたちを学校に迎えに行くことも数回ありました。子どもたちの中から雷が遠くで鳴っているのに、「バイクが走っているのかな?」「今日はすごくてくさん走ってるね。」と可愛らしいやりとりが聞こえてきます。子どもたちの会話が心が癒されます。

夏休み中、子どもたちが観察したり、癒しの時間になればいいなという思いから夏休み前からメダカを飼育することになりましたが、先日、赤ちやんが沢山、生まれていました。あんなに小っちゃい生まれての赤ちやんを見るのは実は、私も初めてでした。

今は、水槽を見るのが、出勤時と退勤前の日課となっています。

子どもたちと一緒に水草について卵を探したり、小っちゃい小っちゃい赤ちやんを探したりするのを今から楽しみにしています。

今年は、災害など起きず、皆さんにとつて楽しい思い出がまた一つ増える夏になることを願っています。

◆八月の行事の予定はありません。

広島市矢賀児童館

こんにちは

保健師です

【今年もいよいよ夏本番！】

食中毒の発生に

注意しましょう！

今年も日差しがジリジリの猛暑日が続いていますね。そんな夏の暑い時期に発生しやすい食中毒は飲食店の食事が原因と思われるがちですが、毎日食べている家庭の食事からでも発生しています。そこで家庭での食事作りでの食中毒予防のポイントをチェックしてみましよう。

① つけない!! 洗う・分ける

食中毒の原因菌やウイルスを食物につけないためにも次のような時は必ず手を洗うようにしましょう。

- ・調理を始める前
- ・生の肉や魚、卵を取り扱う前後
- ・調理の途中でトイレに行つた後
- ・食卓に着く前
- ・残った食品を扱う前など。

また、生の肉や魚などを切つたまま板などの器具から、加熱しないで食べる野菜などへ菌が付着しないように、使用の度にきれいに洗いましょう。加熱しないで食べるものを先に調理するのも一つの方法です。

② 増やさない!! 低温で保存

細菌は高温多湿な環境で増殖が活発になりますが、10℃以下では増殖がゆっくりとなり、マイナス15℃以下では増殖が停止します。

食べ物に付着した菌を増やさないためには、低温で保存する事が重要です。肉や魚などの生鮮食品やお惣菜などは、購入後、できるだけ早く冷蔵庫に入れましょう。

③ やつつける!! 加熱処理

ほとんどの細菌やウイルスは加熱により死滅しますので、肉や魚はもちろん、野菜なども加熱すれば安全です。特に肉料理に関しては中心部まで加熱する事が大切です。中心部を75℃で1分以上加熱する事が目安です。

④ 持ち込まない!! 健康状態の把握
ウイルスはごくわずかな汚染でも食中毒をおこしてしまいます。ウイルスを食品につけないためにも調理者や調理器具、調理する場所が清潔であることが重要です。日頃からの健康管理やこまめな手洗いを行いましょう。

★食中毒かな?と思つたら

嘔吐や下痢症状は原因物質を排除しようという体の防御反応です。自分の判断で市販の下痢止めなどの薬をむやみに服用することは避け早めに医師の診断をうけましょう。

一葉地域包括支援センター

0882(2)263338864